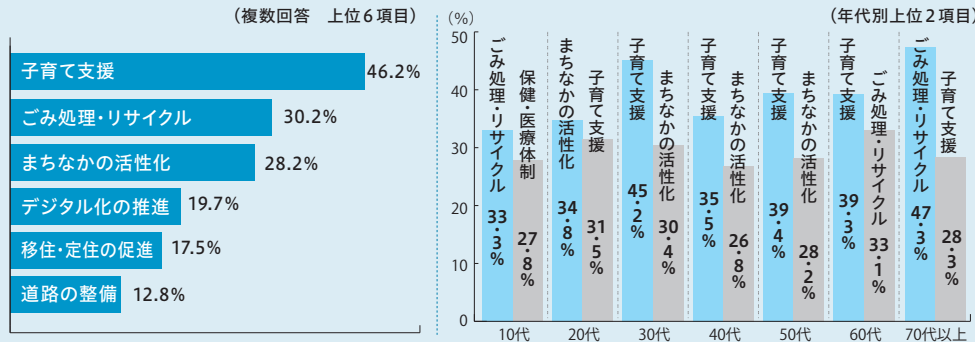


02 都城市の取り組み



Q 市が行っている施策や事業の中から、以前に比べて「良くなっているもの」を3つまで選んでください。



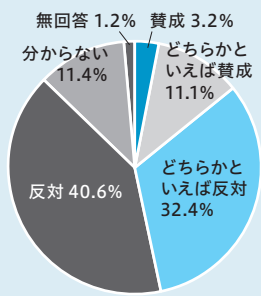
【解説】 以前に比べて「良くなっているもの」項目の1位は、「子育て支援」となっていて、次いで「ごみ処理・リサイクル」「まちなかの活性化」「デジタル化の推進」「移住・定住の促進」「道路の整備」の順となりました。

年代別で見ると、「子育て支援」が10代を除く年代で上位を占めたことは、「第1子からの保育料」「中学生までのこども医療費」および「妊産婦の健診費用」の3つの完全無料化による子育て環境の向上によるものと考えられます。

03 男女共同参画

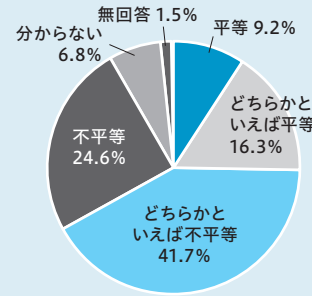


Q 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」というような性別によって役割を固定する考え方についてどう思いますか。



【解説】 「性別で役割を固定する考え方」について、「反対」「どちらかという反対」の回答者が73%となりました。男女別では、男性の約66%が「反対」「どちらかという反対」と回答したのに対し、女性は約78%でした。

Q 「社会（政治や職場など）において、男女の地位は平等だと思いませんか。」

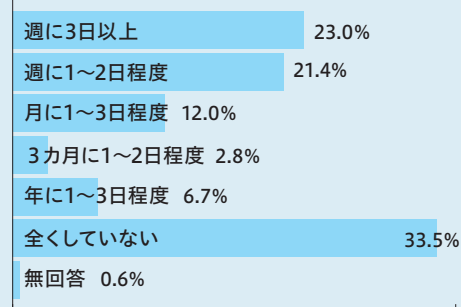


「男女の地位は平等だと思うか」について、「不平等」「どちらかといえば不平等」の回答者が約66%となりました。男女別では、男性の約58%が「不平等」「どちらかといえば不平等」と回答したのに対し、女性は約72%となりました。

04 スポーツと健康づくり

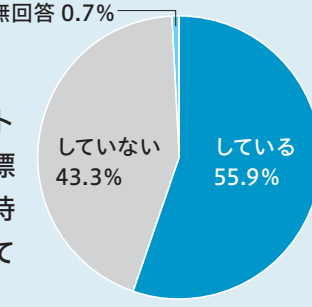


Q 健康や楽しみなどのために、運動・スポーツ(体操やウォーキングなどを含む)を行っていますか。



【解説】 「週に3日以上」が23%、「週に1~2日程度」が約21%となり、約40%以上の方が健康づくりのために、週に1日以上運動やスポーツに取り組んでいることが分かりました。一方で、「年に1~3日程度」が6.7%、「全くしていない」が33.5%となり、運動やスポーツの取り組み頻度は、両極端な傾向がみられます。

Q 体重のコントロール(適正標準体重の維持や減量)をしていますか。



また、体重のコントロールについて、「している」と回答した人は約56%で、過半数を占める結果となりました。

第17回 都城市市民意識調査

ふれあいアンケート結果

市では、市民の皆さんの意見を市政に生かすため、6月から7月にかけて「都城市市民意識調査(ふれあいアンケート)」を実施しました。

今回は、満18歳以上の約13万人の市民の皆さんの中から無作為に選んだ3千人を対象に、本市の住みやすさや、市の取り組み、男女共同参画、スポー

ツと健康づくりなどについて調査を行いました。回答者は1212人(男性495人、女性709人、その他3人、無回答5人)で、回答率は40.4%でした。詳しい結果は、市のホームページで紹介しています。



◎問い合わせ 秘書広報課 ☎23-3174

【男女別回答者数】

性別	回答者	割合
男性	495	40.8%
女性	709	58.5%
その他	3	0.3%
無回答	5	0.4%
計	1212	100.0%

【年代別回答者数】

年代	回答者	割合
10代	18	1.5%
20代	89	7.3%
30代	135	11.1%
40代	183	15.1%
50代	188	15.5%
60代	272	22.4%
70代以上	315	26.0%
答えたくない	5	0.4%
無回答	7	0.6%
計	1212	100.0%

※回答率は、少数点第2位以下を四捨五入して表示しているため、百分率の合計が100%にならない場合があります

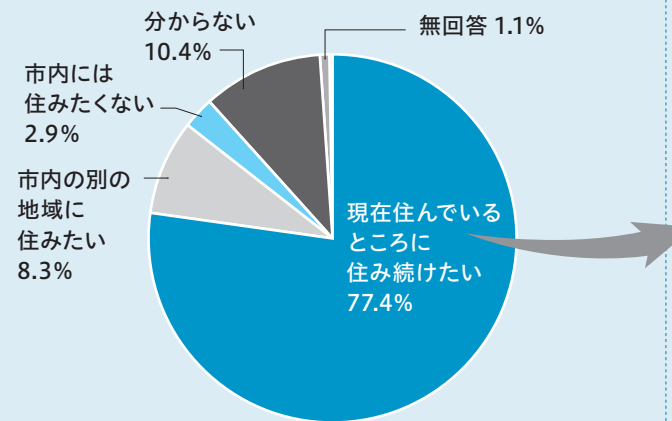
【地区別回答者数】

地区	回答者	割合
姫城	83	6.8%
妻ヶ丘	142	11.7%
小松原	73	6.0%
祝吉	156	12.9%
五十市	130	10.7%
横市	98	8.1%
沖水	121	10.0%
志和池	31	2.6%
庄内	66	5.4%
西岳	16	1.3%
中郷	65	5.4%
山之口	55	4.5%
高城	67	5.5%
山田	46	3.8%
高崎	57	4.7%
無回答	6	0.5%
計	1212	100.0%

01 都城市の住みやすさ

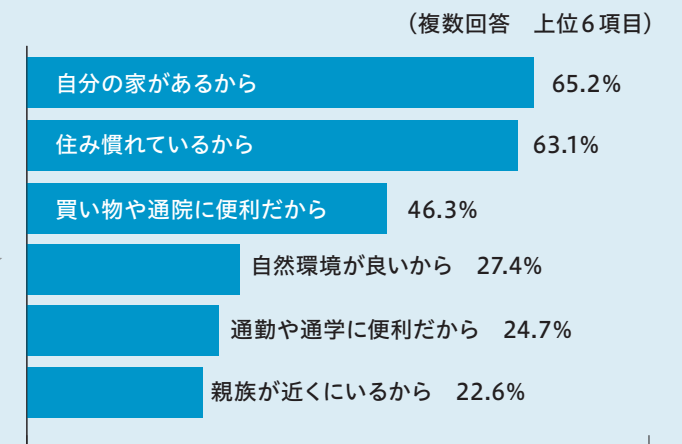


Q これからも都城市に住み続けたいですか。



【解説】 約86%の人が「現在住んでいるところに住み続けたい」「市内の別の地域に住みたい」と回答しています。年代別に見ると、70代以上の約92%が最も多く、次いで60代、50代、40代の順になっています。

Q 「現在住んでいるところに住み続けたい」と答えた理由を教えてください。



住み続けたい理由については、「自分の家があるから」「住み慣れているから」が上位で、年代別で見ると、20代は「買い物や通院に便利だから」、30代は「住み慣れているから」が最も多い結果となりました。